

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	地方道路交付金事業(総括表)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	土木課		包含する細々目	1	8	2	3	11	6	426,000
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心して快適なまちづくり											
施策	44 交通機関と道路の充実											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	済み							関連計画 条例等
		事業期間	13	年度～	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	歩行者と通過車両	歩行者数(人/日)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
		自動車交通量(台/日)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	便利で安全に移動ができる。	改良率(%) = 改良済み延長 ÷ 計画延長 × 100	18目標	23.9	最終目標	
			18実績		19目標	
23目標			23実績		最終目標達成年度	
工事施工箇所数		18目標	4箇所	最終目標		
	18実績	5箇所	19目標	3箇所		
	23目標		23実績			

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	<p>・基幹的な道路であり、国道、県道に接続する道路を改良する事業であり、国の基準に従い幅員、歩道設置等を決定している。</p> <p>島垣外宮ヶ洞線 L = 280m W = 11.0m、</p> <p>長野原線 L = 1,200m W = 7.0m、</p> <p>城山上河原線 L = 550m W = 11.0m、</p> <p>明河原線 L = 2,000m W = 7.5m、</p> <p>牧野机山線 L = 100m W = 8.0m、</p> <p>伊賀良180号線 L = 1,430m W = 5.0m</p> <p>谷川1・2号線 L = 200m W = 16.0m、</p> <p>松尾63号線 L = 800m W = 7.0m、</p> <p>千代15号線 L = 1,150m W = 5.0m、</p> <p>小学校中村線 L = 200m W = 8.75m (片2.0m)</p> <p>飯田女子短大西 L = 220m W = 7.5m</p> <p>飯田144号線 L = 28m W = 6.5m (14.7m)</p> <p>座光寺唐洞線 L = 2,000m W = 7.5m</p> <p>・高速道路をまたぐ道路、長野県指定の緊急輸送路をまたぐ橋梁の耐震整備。</p> <p>一次調査の結果を受け、詳細設計及び補強工事を実施。</p>	<p>・各路線の早期整備完了を目指し交付金事業への移行を検討する。</p> <p>・島垣外宮ヶ洞線 用地買収、物件補償 1式</p> <p>・明河原線 L = 914m W = 7.5m 排水路工、舗装工</p> <p>・小学校中村線 L = 40.0m W = 8.75m(片2.0m)</p> <p>・飯田144号線 L = 28.0m W = 6.5m(14.7m)</p> <p>橋梁耐震整備</p> <p>・城山上河原線(切石上河原線) 落橋防止・補強工事 1式</p>	施工箇所数	5箇所
		<p>測量設計・用地買収物件補償・工事施工・工事説明会</p> <p>H.19年度</p> <p>・島垣外宮ヶ洞線 L = 105m W = 9.0m 歩道整備</p> <p>・明河原線 L = 350m W = 7.5m排水路工、舗装工</p> <p>・小学校中村線 L = 50.0m W = 8.75m(片2.0m)</p>	施工箇所数	3箇所

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源	156,750	234,300
	起債		
	その他		
	一般財源	128,250	191,700
	事業費計(A)	285,000	426,000
人件費	正規職員所要時間	18年度 960	19年度 1,100
	臨時職員等所要時間	32	72
	人件費計(B)	3,467	4,011
	トータルコストA + B	288,467	430,011

特定財源内訳や補足事項	交付金補助率55%
-------------	-----------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値				
	便利で安全に移動ができる。	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路)(%)	現状値	52.3	19実績		
			20実績		21実績		
				22実績		23目標	45
	市内の移動に不便を感じる市民の割合(交通機関)(%)	現状値	37.6	19実績			
		20実績		21実績			
22実績			23目標		35		

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <p>基幹となる市道を整備し、交通網の整備を図る目的で開始した。</p>	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <p>自家用車の1戸当りの所有台数も増えている事、又、バス等の運行路線及び本数が減っている事等により、基幹的な道路の利用量が増えている。(1戸当りの乗用車保有台数が平成2年には1.6台が現在1.9台となっている。平成16年度より地方道路交付金事業と名称が変わった。</p>	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <p>地域との約束事項であるとともに、市民や議会からも改良に対する要望が強く早期完成を願っている。</p>
---	--	---

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	<p>(評価) 結びつく (その理由)</p> <p>通行車両・歩行者が便利で安全に移動できる。</p>	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	<p>(評価) 余地がある (その理由)</p> <p>交付金事業等への移行により、事業の促進を図る。</p>
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>緊急な整備が必要とされている。</p>		廃止・休止した場合の影響はありますか？	<p>(評価) 影響あり (その理由)</p> <p>スムーズな交通が出来なくなり渋滞の恐れがある。</p>
	意図の見直しの必要性はありますか？	<p>(評価) 必要性がない (その理由)</p> <p>現在も交通事故が多発している。</p>		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	<p>(評価) 統合可能 (類似事業名、理由)</p> <p>一部の事業において道整備交付金事業に変更する。</p>
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	<p>(評価) 必要ある (その理由)</p> <p>市道の改良である。</p>		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	<p>(評価) 可能 (その理由)</p> <p>工法の検討により事業費の削減を図る。</p>
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	<p>(評価) 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>不特定多数の市民が利用する道路、橋梁であり負担金はなし。</p>

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止</p> <p><input type="checkbox"/> 休止</p> <p><input type="checkbox"/> 目的見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 別事業に統合</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 → 具体化</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>・飯田514号線、羽場坂中村線については、地域再生計画策定により林道整備とあわせての道整備交付金事業が採択され移行する。 対策緊急輸送路(交通規制対象路線)が地方道路交付金事業の対象となるため 5橋については当事業で実施する。 ・橋梁耐震整備については、平成17年度から県指定震災</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>早期完成を目指し有利な交付金事業等の導入を検討して行く。</p>
---	--

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	